

—特集—

第33回 公民館まつり

10月14日(土)・15日(日)の両日、第33回公民館まつりが開催されました。作品展示、ホール発表などが行われ、大勢の皆様にご来場いただきました。公民館まつりの催し物を編集委員が取材しました。2日間の写真とともに紹介します。



聴いて楽しい



大人気!!
どこでも水族館



『はたらくクルマ大集合』

小諸市内のいろいろな場所が登場した「あの夏で待ってる」のラッピングトラック等日頃、見かけても実際に間近で見ると試乗できることはありません。今回試乗ができ、体験できた子どもたちは、楽しかったことと思います。来年は天候に恵まれ、さらに多くの方々に体験して頂ければと期待します。

『どこでも水族館』

自分が描いた魚の絵がスキャンされ、プロジェクターで映し出された水槽の中を、大きさや方向を変えて、自由に泳ぎ回っています。自分の描いた魚たちが水槽を泳ぎ始めると、子ども達は楽しそうに見入っていました。

今年初めて企画された「どこでも水族館」はこれからも人気のコーナーになると思います。

編集委員 遠山 厚子

『ホール発表 (1日目)』

ホールイベントは、14、15日の2日間にわたって行われました。

1日目は、ダンスや舞踊、邦楽など17の団体が参加しました。

トップバッターを飾ったのは、今年初めて参加した小諸東中学校演劇部のみなさん。22人の部員のうち9人が参加し、アイドルがファンには見せない裏の顔といった、若い世代らしいテーマをコミカルに演じた寸劇で、観客の人たち